めばえ通信

通巻 348号
令和 8年 3月 24日
発行/こども発達センターめばえ

『心のリュック』を背負って

毎年、保護者会の皆さんが親子文集を作成してくださいます。「〇〇ちゃんは、こんなことが好き」「１年でこんな成長が見られました」と、愛情あふれるまなざしで描いて下さった１ページ１ページを、あたたかな気持ちになりながら読ませていただいています。

通園されているＡくんのページにも、「着替えが一人でできるようになった」「すべり台やブランコなど一人で乗れるようになった」とたくさんの成長をお家の方が書いて下さり、胸が熱くなりました。

Ａくんは親子通園からめばえを利用し、毎日通園に通われました。親子通園の時から、とても繊細で、初めてのことや人・場所に緊張が高まり、嘔吐してしまうことが頻繁にあるお子さんでした。そんなＡくんにいつもご家族も丁寧に慎重に関わって下さっていました。毎日通園の１年目、Ａくんにとっては初めてのことだらけの毎日だったと思います。少しの緊張で嘔吐したり、苦しくなる様子が見られました。Ａくんにとって食べることも大きなハードルでした。食材を口に運ぶこと自体が受け入れ難く、１年目はスープを１さじ口にすることからのチャレンジでした。

２年目の通園も環境の変化があり、周りの大人もＡくんはどんなふうに感じるだろうとドキドキでしたが、おそらく１年目での経験が土台となり、２年目のＡくんは嘔吐することがぐんと減りました。そして、Ａくんは食材を口にすることへと挑戦していきます。給食を共にする友達の姿が見やすい配置にしたり、食材も皆と同じものを小さくカットするなどして、仲間と一緒に食べて楽しい・嬉しいという気持ちを持てるようにしていきました。ほんの少しずつですが、食材を口にして飲み込めるようになりました。そして３年目、怖いと尻込みしやすかったサーキットに挑戦したり、お友達とのあそびが活発になりました。２年目に引き続いて、食べることも少量ずついろいろな食材について取り組むことが出来、先日は友達がコーンスープを飲み干す姿を見て、「ジブンモ！」と全部飲む姿を見せてくれました。

Ａくんの成長を振り返り、ふとある方が言っていた「私たちは、『心のリュック』を背負っている」という話を思い出しました。めばえに通うこと、学校に通うこと、仕事に行くこと、家事をこなすこと…私たちが日々活動をすることを坂道に例えるとします。坂道を上る時、私たちはリュックを背負っています。このリュックは“心の余裕”を表します。日々活動していて、うまくいかないこと・不安なこと・イライラすること、これらのストレスを私たちは背負っている心のリュックに入れていきます。Ａくんのこれまでをこの『心のリュック』で考えていくと、親子通園や毎日通園１年目は不安が大きく、このリュックが非常に重かった可能性があります。リュックが重すぎると私たちは動けなくなります。坂道も上りにくくなります。Ａくんも「もう、無理！」というように嘔吐になっていたのかもしれません。でも、２年目、３年目と初めてではなく何度も繰り返す活動の中で、ストレス（荷物）が少し小さくなってリュックが軽くなったのかもしれず、また、これができたという活動での達成感が自信となったことや、お友達と一緒がいいという気持ちが育ったことがリュックを広げる役割を果たしてくれた可能性があり、Ａくんの『心のリュック』は成長したように感じます。

あらためて、私たちが日々こどもたちと過ごす毎日は、不安・葛藤というストレス（荷物）を少し軽くするためにどんなことができるのかを考えることと、リュックが大きく成長するためにどんな経験を用意できるか、どんな関わりができるかを考える役割なのだと気づかされました。

Ａくん、そして次へのステップに進んでいくこどもたちみんなの『心のリュック』が、これからもゆっくりと育ち、そして楽しく人生の坂道を上っていけることを祈っています。

１年間、こどもたちの成長を一緒に見守らせていただきありがとうございました。

こども発達センターきためばえ　　樋口範子

みんな　金メダル！

つい先日まで行われていたミラノ・コルティナ冬季五輪では、熱戦が繰り広げられ、今回は、メダルラッシュで嬉しいニュースでした。

メダルといえば、めばえでも運動会やお楽しみ会、そして３月の卒園修了時には、こどもたちにメダル渡しています。『頑張ったメダル』『きらっとメダル』と呼んでいるこのメダルは、こどもたちが頑張った証。首に掛けても掛けなくても、それぞれの受け止め方でメダルを握りしめ自分の頑張りを実感しているように思います。

12月の『お楽しみ会』後には、保護者の方からメダルを渡していただきました。このメダルは、父親保育参加日でお父さんたちが、お子さんの好きな色やデザインを加えながら、作ってくれた物です。そんな、思いも詰まったメダルを、「がんばったね！」の言葉をそえて、ご家庭で渡してもらいました。たくさんのお客さんを前にちょっぴり緊張してしまった子、堂々とやりとげ誇らしげな表情を見せてくれた子、いろんな姿がありましたが、保護者のアンケートには「恥ずかしい、ドキドキする気持ちの中でやり切り、達成感を感じ自信がついた顔がみられてとてもうれしく感動した」「一人ひとり頑張ってやりきる姿が素敵だった」等の温かい声を頂きました。保護者のみなさんが「できたこと」だけでなく、お子さんのがんばっている姿や友だちとの関わりなど、日々の過程も含めて受け止め認めて下さっていることを感じました。

さて、日に日に暖かくなり、冬に植えたチューリップもグングン大きくなり、いよいよ卒園、修了を迎えます。4月、初めての活動に不安いっぱいの子もいました。粘土や絵の具、新聞紙やお花紙など、めばえの活動で取り組んでいる感触系の遊びに参加できず、最初は周りで見ての参加だった子も、少しずつ大人の誘いや促しがなくても自分から参加し、“おもしろそう”という気持ちを持ってくれるようになってきました。園庭やホールでの遊びも、日に日にダイナミックになってきて、ともだちがやっている様子を見て、“ぼくも”“わたしも”と、高い所からジャンプしたり、大きな揺れにもチャレンジしてみたりと、興味が広がってきました。“がんばってみよう”と思えるのは、クラスのともだちや先生が安心できる存在になってきたからです。“先生と一緒なら頑張れそう”“ともだちがやっているから、ちょっとやってみようかな”、そんなこどもたちの気持ちの変化や心の成長を感じられる時は、私たち職員もみんなで「すごーい！！」と思わず拍手してしまう嬉しい瞬間です。こどもも周りの大人が喜んでくれてうれしい、自分でも“できた”とうれしい気持ちを感じ、自信につながってくる瞬間ではないでしょうか。

乳幼児期において最も大切なことは大人を大好きになることです。寝返りもはいはいも、こどもは大好きな大人からの働きかけでチャレンジします。大人が声をかけてくれるから大人に向き合おうとして、体位を変換するのです。子どもの世界は大好きな大人の存在によって広がっていきます。(参考文献:子どものかわいさに出会う　近藤直子著)

2月には後期のお子さんの姿の共有しながら、次年度の目標を一緒に考えていく個別面談をさせていただきました。保護者の方とこの1年を共に振り返り、こどもたちの姿を共有させていただく中で、お子さんの成長に胸が熱くなることもあります。そして、次年度に向けて、目標を立てていきます。

〔発達過程〕(中略)ある時点で何かが「できる、できない」といったことで発達を見ようとする画一的な捉えではなく、それぞれの子どもの育ちゆく過程の全体を大切にしようする考え方である。(保育所保育指針解説より)

保護者の願い、お子さんの願い、そこに支援者の願いも加えながら、あれも、これも、出来るようになってほしいと、願いは尽きません。この「できるようになる」過程や結果は、こどもの発達においてとても大切なことですが、「できるようになること」を目指し過ぎて、できない事をなんとかしなくては、と思いがちです。

こどもは「○○したい」という思いから、さまざまな経験を重ね、振り返った時に「○○ができていた」となります。それがこどもの自然な育ちです。(参考文献:ほいくあっぷ)

こどもが“やってみたい”と思えるようなワクワクする活動を取り入れながら、個々の発達・成長に合わせた支援をめざしていきたいと思います。大人が目指しすぎずに、こどもがしたいこと、こどもの願いや声を忘れずに支援目標を考えていきたいですね。

私が好きな絵本に、『大好きぎゅっぎゅっ』という絵本があります。 この一年を振り返り、お子さんのきらっと輝いていたことは何ですか？言葉にして、だいすきぎゅっ♡の金メダルをあげて下さい。 そして、お子さんを一番近くで支えてきた保護者のみなさんにも金メダル！

一年間ありがとうございました。

こども発達センターめばえ　中山明子

食育絵本

絵本には、こどもに働きかける様々な力が備わっています。１冊の絵本がきっかけで、新しい食べ物にチャレンジする気持ちを持てたり、苦手な食具を使うことに取り組もうと思えたりします。こどもたちの世界を楽しく広げてくれる絵本は、子育て中のお父さん、お母さんにとっても、大きな味方になってくれることは間違いありません。

いろいろな食べ物が手に入り、食事スタイルも自分で選べる時代にこどもたちにとって、「食べること」を意識することが大事になっています。食べることと自分の健康が少しずつ意識の中で結びついて楽しい食事につなげていくキッカケとして絵本を一緒に楽しんでみましょう。

おすすめ絵本

☆『いただきますのおやくそくだもの』 作 きだにやすのり　あかね書房
☆『ぱっくん でーきた!』 作 にへいたもつ　ポプラ社
☆『あける』 作 はらぺこめがね　佼成出版社
☆『じゃがじゃが おなべの おふろやさん』 作 つぼいじゅり　小峰書店
☆『ごはんのずかん』 作 大森裕子　白泉社

給食室

≪４・５月のおもちゃ図書館≫

菊川おもちゃ図書館あそぼ
４月１１日（土）／５月９日（土）
開館場所：プラザけやき
検診ホール　児童館あそぼの部屋
10：00～11：30　13：30～15：30
連絡先：0537－37－1135

掛川キューピーおもちゃ図書館
会館場所：総合福祉センター
１階西側　Myラボ
４月19日（日）／５月17日（日）
10:00～12:00　13:00～15:00
連絡先：0537－22－1309

発行者・お問い合わせ／こども発達センター めばえ
TEL）0537－23－2312　FAX）0537－23－0008

東遠学園　めばえ　検索

学園ホームページ

4月の予定

4月			心理	バス ○14:30 発 △13:00 発
1	水	春休み（～６日まで）		
2	木			
3	金			
4	土			
5	日			
6	月			
7	火	午前：入園式（新入園児のみ） 午後：始業式（継続児のみ）		×
8	水			○
9	木			△13:00
10	金			○
11	土			
12	日			
13	月			○
14	火			○
15	水			○
16	木			△13:00
17	金			○
18	土			
19	日	クリーン活動（８：00～10：00）		
20	月	継続児年長面談週間		○
21	火			○
22	水			○
23	木	保育参加日（歯科検診）		×
24	金			○
25	土			
26	日			
27	月			○
28	火			○
29	水	昭和の日		
30	木			△13:00

お願い

新入園児慣らし保育等で、駐車場が GW 明けまで大変混み合います。ご協力よろしくお願いします。

お知らせ

○３/26（水）～４/６（月）春休み

健康・安全には十分気を付けて、お休みをお過ごしください。

※緊急時はめばえに御連絡下さい。

０５３７－２３－２３１２

閉園時は携帯電話へ転送されます。

園庭開放について

○３/26～31、４/２～３

（10:00～15:00）

- 園庭開放をご利用の方は来園前にご一報ください。また、園庭で使用した玩具は片付けをお願いします。
- 園舎内の開放はありません。
- トイレのご使用に関しては、玄関から入り、廊下にある一般用トイレをご使用ください。

○７日（火）入園式・始業式

午前：入園式…新入園児と保護者

午後：始業式…継続児と保護者

詳細は、お渡ししてあるお便りをご確認ください。

○８日（水）～14（火）

新入園児慣らし保育

○クリーン活動について

クリーン活動は４/19（日）、９/26（土）に実施いたします。２回のうち、いずれか１回以上のご参加をお願いいたします。

※来年度はクラスごとに日程を分けさせていただく予定です。

○20 日（月）～24（金）

継続児面談週間（年長）

○23 日（木）保育参加日（歯科健診）

※印鑑を必ずご持参ください。

５月の予定

１日（金）引き渡し訓練

７日（木）～　新入園児バス開始

14 日（木）保育参加日

（栄養士からの講話〔防災食〕）

28 日（木）保護者参加日

（保護者総会・クラス懇談）